

第8回



FUTURE DESIGN 2025

9/13 (Sat) 10:00 ~

9/14 (Sun) 9:30 ~

参加無料
Zoom開催

基調講演 9月13日 (土) 16:20~

「未来のために今日行動するーウェールズ発・
《未来世代のためのウェルビーイング法》が
できるまで」 同時通訳あり

ウェールズ・トリニティ・セント・デイビット大学名誉副学長
ジェーン・デイヴィッドソン氏



略歴：ジェーン・デイヴィッドソン氏は「ウェールズ・ネットゼロ2035」委員長を務め、2035年のネットゼロ達成に向け助言しています。著書『#futuregen』は将来世代保護の取り組みを紹介し、日本語版は2025年9月上旬刊行予定。2000~2011年にウェールズ政府の環境・教育大臣として、持続可能性を政府の基本原則とする法律の制定を提案し、2015年の「将来世代の福祉に関するウェールズ法」につながりました。現在は環境団体を支援し、世代間公平性を国際的に発信しています。

基調講演 9月14日 (日) 11:50~

「現代と未来で描くまちづくりー木城町総合計画策定でのフューチャー・デザイン実践ー」

宮崎県木城町 地域政策課 まちづくり推進係 係長
文田恵子氏



略歴：宮崎県木城町出身。県外の大学へ進学後、2003年に帰郷し木城町役場に入庁。7課9係の各種行政業務を歴任後、2025年度から現職。2022年3月から町制施行50周年プロジェクトの一貫で職員研修からFD実践を開始し、2022年には町制施行50周年にかかわる町民参加によるFDを複数回実施している。同年、広報誌刷新のためのWSとしてFDを活用し、結果を反映させた事業展開を進めた。2024年度には木城町総合計画・総合戦略の策定にFD実践を活用している。

フューチャー・デザインは、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために、新たな仕組みをデザインし、現在の社会の仕組みである市場や民主制を何らかの形で制御しようとする新たな分野です。たとえば、将来世代の視点に立ち、将来世代の利益を代表する役割を与えられた人々(仮想将来世代)は、通常の現代世代の人々とは異なる思考をして、将来世代の利益を擁護することが実験や実践で分かってきました。本シンポジウムでは、フューチャー・デザインをめぐる様々な実践や研究について議論いたします。研究者だけでなく、自治体などの実務家も含め、意見交換を行います。奮ってご参加ください。

主催



キャングローバル戦略研究所
The Canon Institute for Global Studies

<https://cigs.canon/>



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

<https://www.scj.go.jp/index.html>

参加お申し込みは
こちらから

<https://forms.gle/JYoqLryiA3v2zXC07>



フューチャー・デザイン2025 プログラム

9月13日（土）

- **10:00 開会挨拶**
小林慶一郎（キャノングローバル戦略研究所、慶応義塾大学）
 - **10:05 「ソーシャルワークにおけるフューチャー・デザインの導入実践：長野県の福祉現場における取り組み」**
井上信宏（信州大学）
中島将（長野県社会福祉協議会）
柴田裕美（諏訪市社会福祉協議会）、和地忍・下倉亮一（長野県長寿社会開発センター）
 - **11:45 「フューチャー・デザイン体験を用いた大学職員向けワークショップの試み」**
塩川雅美（龍谷大学）、佐藤浩輔（大阪体育大学）、森下覚（東京都市大学）、
小林諒太郎（大阪経済大学）
 - **12:15 「他者の提示方法が利他選好に与える影響—現世代・40年後・将来世代の比較から—」**
三木毬菜（関西学院大学）
- ※13:30-17:25 同時通訳あり
- **13:30 "Time preference and intergenerational attitudes on climate change"**
Botao Qin (Xi'an Jiaotong University)
 - **14:00 "From Past Heritage to Future Legacy: Futuristic Visioning for Miike Coal Mines Through Future Design"**
Farzaneh Gharaati (Tarbiat Modares University)
 - **14:30 "Designing the Fiscal Future: Intergenerational Justice and Public Debt in Japan and Germany"**
Yosuke Buchmeier (Munich University)
 - **15:10 "Future Design: How to Stimulate Imagination?"**
Rick Koster (Leaderscope) & Igor Verettas (Educational Speakers)
 - **15:40 "What can art do for the future?"**
Michael Munker (milliongenerations foundation)
 - **16:20 基調講演「未来のために今日行動する—ウェールズ発・「未来世代のためのウェルビーイング法」ができるまで」**
Jane Davidson (Pro Vice-Chancellor Emeritus at the University of Wales Trinity Saint David/Author of #futuregen: Lessons from a Small Country)
 - **17:20 閉会挨拶**
一原雅子（京都大学）

9月14日（日）

- **9:30 「将来世代の視点から世界自然遺産を考える：富士山ワークショップにおけるFuture Designの試行とその意義」**
織朱實（上智大学）
- **10:00 「環境保護意欲に対する年齢・経済的要因の影響：ISSPデータを用いた二次分析」**
高橋茉優（東京大学）
- **10:40 「フューチャー・デザインの脳科学的検証」**
北村峰陽・岡本剛（九州大学）
- **11:10 「財務省におけるフューチャー・デザインの取組」**
大本エリナ（財務省主計局調査課）、福嶋咲穂（財務省近畿財務局）
- **11:50 基調講演「現代と未来で描くまちづくり—木城町総合計画策定でのフューチャー・デザイン実践—」**
文田恵子（宮崎県木城町 地域政策課）
- **12:50 閉会挨拶**
大本エリナ（財務省）

フューチャー・デザイン2025組織委員会

- **Chair:** 小林慶一郎（キャノングローバル戦略研究所・慶応義塾大学）
- **Vice-chair:** 中川善典（上智大学）
- **Members:** 一原雅子（京都大学）、岡本剛（九州大学）、小林淳（キャノングローバル戦略研究所）、高橋雅明（矢巾町学校教育課）、西村直子（立命館大学・大阪大学社会経済研究所）、廣光俊昭（財務総合政策研究所）、藤島和典（一般社団法人フューチャー・デザイン）、西條辰義（京都先端科学大学・総合地球環境学研究所）